

デジタルツールを活用した『現場改善』 ～ものづくり現場をスマートにしませんか？～

令和6年7月24日（水）14時00分～16時30分

会場：工業技術センター2F 第1研修室（高知市布師田3992-3）

オンライン
参加可

参加無料

人手不足や資材の高騰などに対応するため、製造現場での生産性向上は今すぐ取り組むべき課題です。解決方法として、まず現場改善が頭に浮かぶ方も多いと思いますが、いろいろな手法を駆使して問題点を把握し改善計画を立てて実行する地道な活動です。しかし、早く効率的な現場改善を目指すためには、カメラやMicrosoft Excel、IoT技術などの手軽なデジタルツールの活用を検討することも重要です。

そこで、本セミナーでは現場での改善活動を多数実践、指導してきた講師をお招きし、その手法や事例についてご紹介いただきます。

講演内容

1. デジタル化の波に飲み込まれず、波にのるためには

～カイゼン活動の延長線上にあるスマートものづくり～

大阪工業大学 情報科学部データサイエンス学科教授 皆川 健多郎 氏

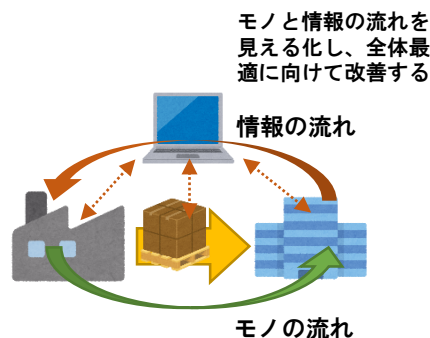
○デジタル化は手段であり、まず自社のプロセスを見直して改善を目指す、IE（インダストリアル・エンジニアリング）の考え方が重要になります。そのうえで、身の丈にあったデジタル化による生産管理の最適化を考えることが重要です。今回は、以下の事例を交えてわかりやすくその考え方をご説明いたします。

- ・Webカメラをつけたら、今までおこなっていたムダな移動がなくなった
- ・サイクルタイムを分析して工程の余力をみつけた
- ・ロット生産から1個流しにすることにより、生産性を向上

2. 生産性向上推進アドバイザーの改善支援紹介

高知県生産性向上推進アドバイザー 香川 博昭 氏

○企業現場での発注から納品までのモノと情報の流れの現状を図示し、現場と問題を共有し改善を進める事例の紹介



高知県生産性向上推進アドバイザー 田村 豊 氏

○現場にある工作機械の消耗品の在庫管理をエクセル化し、見積依頼票や発注伝票を発行するシステムを運用しながら、適正発注点や適正在庫を目指す事例について



申込方法は裏面へ

日時

令和6年7月24日(水) 14時00分～16時30分

会場：工業技術センター2F 第1研修室（高知市布師田3992-3）

※ZOOMウェビナーにて同時配信

プログラム

14:00～

開会あいさつ

14:05～15:05

デジタル化の波に飲み込まれず、波にのるためには
～カイゼン活動の延長線上にあるスマートものづくり～
大阪工業大学情報科学部データサイエンス学科 教授 皆川 健多郎 氏

15:15～15:45

生産性向上推進アドバイザーの改善支援紹介
高知県生産性向上推進アドバイザー 香川 博昭 氏

15:45～16:15

高知県生産性向上推進アドバイザー 田村 豊 氏

16:15～16:30

名刺交換会

申込方法

- (1) 二次元コードのリンク先からお申込みください。
- (2) 下の申込票を記載のうえ、FAXでお申込みください。
Zoom接続用のURLは前日までにメールでお知らせします。

申込締切

令和6年7月19日(金)



※注意事項

- ・ 申込は高知県内の企業・事業所の方に限定します。
- ・ ZOOM接続用URLは、他人に教えないでください。
- ・ 講習会の録画、録音、公開は禁止します。

申込票

企 業 名	
参 加 者 氏 名	
電 話 番 号	
メー ル ア ド レ ス	
参 加 方 法	会場 ・ オンライン

<<お問い合わせ・申込先>>

高知県工業技術センター 生産技術課 中澤・毛利

TEL : 088-846-1653 FAX : 088-845-9111

E-mail : 151405@ken.pref.kochi.lg.jp